

2015年（平成27年） 9月 704号

キリスト者であることへの責任

マリノ E. デハクト Jr.

料理を作ることが好きな人にとって塩はとても大切です。塩がなければ思っている味を出すことができず、なかなか満足できないでしょう。私は料理を作るとは非常に苦手ですが、塩味が好きなので食事をする時塩味が足りないと思うと物足りなく思います。皆さんも塩が私たちの日常生活でどんなに大切なのかご存知だと思います。食べ物に味を付けるだけではなく、食べ物が腐らないためにもよく使われています。塩がなければ私たちの日常生活は味気がなくなり、ばい菌も繁殖しやすくなるでしょう。

イエス様は弟子たちに「あなたがたは地の塩である。」また「あなたがたは世の光である。」とおっしゃいました。この御言葉によってイエス様の弟子としての私たちが世に対してどんな責任を持っているのか考えさせられます。ご存じのように最初の弟子たちはイエス様が始められた宣教活動にならって、イエス様のように人々に仕えました。つまり彼らはキリストに基づいている愛に生きて、周りの人々と共に生活をしました。彼らの良い模範と行いによって、塩のように人々を喜ばせたのです。確かにイエス様のような方と一緒に過ごすことは幸せでしょう。御言葉によって彼らは人々に知恵を伝えて分かち合うことができたからです。またイエス様が弟子たちは世の光だとおっしゃっています。弟子たちはキリストの教えに従って人々を罪の闇から解放して導いたからです。そして弟子たちは日常生活の中でも全ての行為がイエス様の教えに基づいていたのです。彼らはイエス様がおっしゃったように世の塩、世の光として生きていました。

イエス様はキリスト者である私たちにも最初の弟子たちと同じ責任をお与えになりました。でも弱い私がこんな責任を果たすことができないと思うかもしれません。しかし、その最初の弟子たちも普通の人々でした。彼らは自分の力ではなく、神様の恵みによって与えられた使命を果たすことができたのです。だから私たちも自分に与えられた使命を全うすることがないと言って逃げるわけではいけません。イエス様は「人々が、あなたがたの立派な行いを見て、あなたがたの天の父をあがめるようになるためである。」とはっきりおっしゃいました。確かに私たちは他の人達にキリスト者らしい行為をみせなければなりません。でもそれは自分が誉められるためではなく、私たちのした行動によってイエス様が知られるようになるためであるのです。しかしイエス様を伝えるよりも、時々自分が立派なことをしても、イエス様のことを忘れて自己中心にな

ってしまう場合があります。そうならないように気を付けましょう。私たちが地の塩、世の光になることはイエス様の恵みによってなので、どんなに立派な行いしても、謙遜であり続けましょう。